

わたしたちの ゆあさ町

町章は、湯浅の「ユ」の文字をもとにしてできています。また、全体のかたち（円）は太陽がのぼる様子（日の出）をあらわしていて、これからはと湯浅が発展することを願って、決められました。



町章



町の花
三宝柑



町の木
なぎの木



▲^{ゆ あさちく ようす}湯浅地区の様子



▲^{す はらちく ようす}栖原地区の様子



▲^{よしかわちく ようす}吉川地区の様子



▲^{た ちく ようす}田地区の様子



▲^{やまだちく ようす}山田地区の様子

この本で勉強するみなさんへ

この本は、湯浅町内の小学校3年生のみなさんが、地域のことを学習する中で、自分の住んでいる町のことについて調べる時の参考になるようにつくりました。

私たちが住んでいる湯浅町は、和歌山県でもたいへん古くからさかえた町で、『歴史とロマンにみちあふれた町』と言われています。美しい自然とともに、古くて立派なものがたくさん残っています。また、新しい建物なども次々とつくられて、町の様子も大きく変わってきました。

ただ本を読むだけでなく、実際に見に行ったり、おうちの人のお話も聞いたりすれば、もっと湯浅の町がよくわかってくるとおもいます。そのために、この本を利用してください。



▲^{ふる まち}古い町なみ



1 | 私たちの湯浅町 1

① 湯浅地区の様子 2

② 栖原地区の様子 5

③ 吉川地区の様子 7

④ 田 地区の様子 8

⑤ 山田地区の様子 10

2 | 人びとの仕事と暮らし 12

《農業の様子》 12

① 米づくり 12

② みかんづくり 13

③ いちごやびわづくり 16

《漁業の様子》 18

① 魚市場 19

② しらす加工 20

③ 釣り舟 21

《商業の様子》 22

① 商店街 22

② スーパーマーケットやコンビニエンスストア 24

③ 宿泊施設 25

《工業の様子》 25

◎ 町内にあるおもな工場 27

3 | 町の特ちょう 31

① 醤油と金山寺味噌 31

② 熊野参詣道 33

③ 歴史的な町なみ 35

コラム 日本遺産『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州』 36

4 | 資料 37

・ 有田地方の市と町、湯浅町内の字 37

・ 湯浅町の土地の様子 38

・ 町内の学校地図 39

・ 町内の主な施設地図 40

・ 各小学校区 学習白地図 42

1 | 私たちの湯浅町



私たちの住んでいる湯浅町は、和歌山県の中心から少し北の方にあります。湯浅町に住んでいる人はおよそ12,000人です。早くから、有田地方の中心地として発展してきました。



「湯浅町」のことをもっと詳しく調べてみたいわ。



ぼくは自分の学校の校区をまわってみるよ。



①湯浅地区の様子

湯浅地区は湯浅町のなかほどにあり、ほとんどが平地です。土地がせまいので、海岸を埋め立てて広げました。そこは、なぎ区とよばれています。



▲なぎ区

湯浅地区は、湯浅町の中心地区として早くから開け、人がたくさん住んでいます。JR紀勢本線（きのくに線）が南北に通り、JR湯浅駅があります。国道42号線も通っています。

役場・給食センター・町立図書館・警察署・税務署など、町や県や国の施設がたくさんあります。郵便局や病院、また公園もあります。

いろいろな店やスーパーマーケットもあり、便利です。むかしは有田地方の中心地としてさかえたので、古い町なみがたくさん残っています。とくに醤油、金山寺味噌づくりがさかんでした。それで、町の中には醤油蔵や味噌蔵がいくつも残されています。

湯浅湾ではいろいろな種類の魚が釣れます。大阪などから魚釣りを楽しむ人がたくさん訪れて旅館や釣り舟などを利用しています。



給食センター



役場



図書館



湯浅駅



警察署



消防署



簡易裁判所



郵便局

ゆあさちく しせつ
▼湯浅地区にある施設

しせつめい 施設名	チェック	しせつめい 施設名	チェック
やくば 役場	<input type="checkbox"/>	ありだ そうごうちょうしゃ 有田総合庁舎	<input type="checkbox"/>
しゃかいふく しきょうぎ かい 社会福祉協議会	<input type="checkbox"/>	ぜいむしょ 税務署	<input type="checkbox"/>
そうごう 総合センター	<input type="checkbox"/>	ハローワーク 湯浅	<input type="checkbox"/>
ゆあさ 湯浅スポーツセンター	<input type="checkbox"/>	しょうぼうしょ 消防署	<input type="checkbox"/>
ちやうみんたいいくかん 町民体育館	<input type="checkbox"/>	けいさつしょ 警察署	<input type="checkbox"/>
ちやうりつ と しょかん 町立図書館	<input type="checkbox"/>	かん い さいばんしょ 簡易裁判所	<input type="checkbox"/>
きゅうしょく 給食センター	<input type="checkbox"/>	すいどう じ むしょ 水道事務所	<input type="checkbox"/>
ほ いくしょ 保育所	<input type="checkbox"/>	ほ けんじょ 保健所	<input type="checkbox"/>
しょうがっこう 小学校	<input type="checkbox"/>	ろうじんかい ご しせつ 老人介護施設	<input type="checkbox"/>
ちゅうがっこう 中学校	<input type="checkbox"/>	ちやうみん 町民プール	<input type="checkbox"/>
こうとうがっこう 高等学校	<input type="checkbox"/>		

わたし ちやうりつ と しょかん
私は、町立図書館で
ほんが
本を借りたことがあるよ。



どこにあるのか、
ばしょ
場所がわかったら
チェックしましょう。



いろいろな方言があるね。
なに ところ
何をすする所なんだろう。



すはらちく ようす
② 栖原地区の様子

ゆあさちく から すはらざか を こえ る と すはらちく です。にしがわ うみ めん すはらいがん
湯浅地区から栖原坂をこえると栖原地区です。西側は海に面し、栖原海岸
が有名です。さんぼう やま にか こ ま れ て とうざい ほそなが ひろ
が有名です。三方が山にかこまれて東西に細長く広がっています。

すはらいがん
栖原海岸には、
いろいろな生き物があるよ。



さんぼうかん た
三宝柑を食べたことは
あひな。



むかしから「三宝柑」の特産地として有名で、毎年たくさん出荷していま
す。ほかにもいろいろな種類のみかんなどがつくられています。また、ぎょぎょう
もさかんで、みなと せいび ふなつきば などいろいろな施設があります。
かいじょう つ かいじょう つ きやく
海上には釣りいかだがかび、釣り客でにぎわっています。しらすの加工
工場もあります。



やま うえ み すはらちく
▲山の上から見た栖原地区



◀ 栖原漁港

北側にある白上山（184メートル）のふもとには、今から790年くらい前に、明恵上人が建てた施無畏寺や修行したという「白上遺跡」があります。さくらやもみじがたいへん美しく、ここから見る湯浅湾の景色はとてすばらしいながめです。



▲ 施無畏寺から見た湯浅湾にうかぶ島々（たか島、けなし島、かるも島）

③ 吉川地区の様子



▲ 吉川地区

国道42号線から西の方の山すそが吉川地区です。糸我峠をこえてくる「熊野古道」が地区の真ん中を通り、「逆川王子跡」やいろいろな古くからの遺跡が残されています。

昔からみかんをつくる農家が多く、最近では野菜や花などのハウス栽培もおこなわれています。

田栖川小学校吉川分校があり、2年生までの子供たちが勉強しています。

数年前から、住宅や団地がつくられ、人口がふえてきています。また、冷蔵倉庫や大きな病院・老人介護施設などもあります。



▲ 熊野古道峠茶屋跡

4 田地区の様子



▲山の上から見た田地区



工場や倉庫があるよ。
なに
何をつくっているのかな。



山の上までみかんや
びわがつくられているよ。



栖原地区から海岸にそって北へ行くと、平成26年7月（2014年）に新たに開通した新田坂トンネルがあります。このトンネルを通ると田地区になります。

田地区も栖原地区と同じように、三方が山でかこまれ、東西に細長い土地です。

農家が多く、みかんとびわの栽培がさかんで、「田村みかん」「田村びわ」として各地に出荷されています。

漁業もさかんで、しらす漁やわかめの養殖もおこなわれ、加工する工場があります。

海辺にある国津神社はたいへん古い神社で、秋の祭りには「三面獅子舞」や「鯛なげ」でにぎわいます。

また、新田坂トンネルからの海岸道路が大きく広げられ、栖原地区や有田市方面への交通が便利になりました。

平成17年（2005年）には海をよごさないようにするため、家庭などで使った水をきれいな水にし、農業用水として再利用する「田浄化センター」が完成しました。



▲しらす加工工場



▲田浄化センター



やまだちくようす
⑤山田地区の様子

やまだがわ じょうりゅう やま
山田川の上流，山にかこまれた所に山田地区があります。地蔵峰や三本松
みね とよばれる山々があり，自然いっぱいの地域です。



やま うえ から みた やまだちく
▲山の上から見た山田地区

やまだちく は，みなみに きただに ひらの わ
山田地区は，南谷・北谷・平野に分かれています。山田小学校は小高い山
とちゅう にあり，ちか には ごとんぼだんち やぶつりゅう
の途中にあり，近くには御殿場団地や物流センターがあります。



ごとんぼだんち
▲御殿場団地

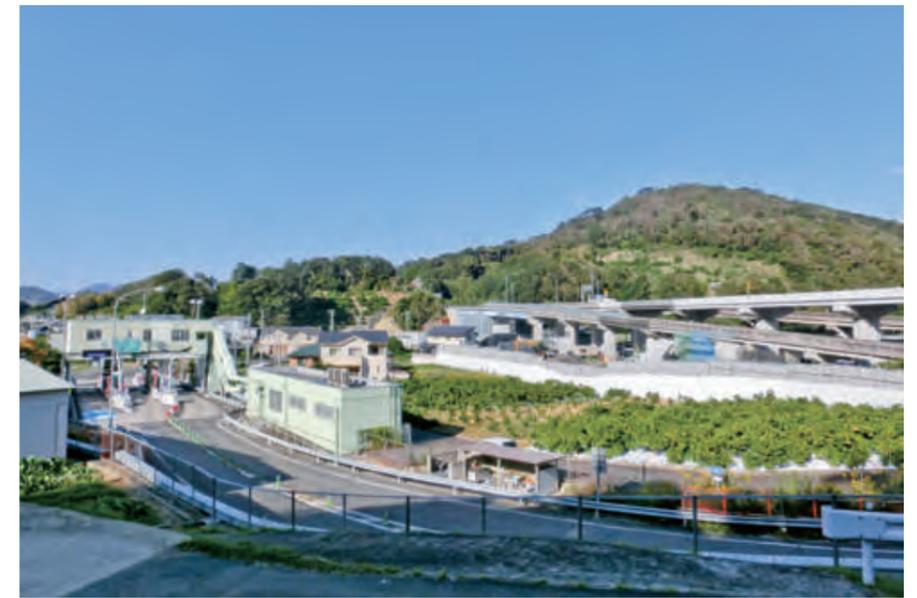


ゆあさぶつりゅう
▲湯浅物流センター

やまだ
山田では，みかん・いちご・きのこなどが
つくられています。畜産もおこなわれて
います。また，木材加工工場・ミネラル
ウォーター工場などもあり多くの人が働い
ています。

こうそくどうろ とお わ か やまほうめん い
高速道路が通っていて，和歌山方面と行
き来することができます。

やまだ
山田ではいろんなものが
つくられているね。



ゆあさ
▲湯浅インターチェンジ

みなみに おく に まるおんせん
南谷の奥に，二の丸温泉やログハウスがあり，多くの人がおとずれます。
しょか になると ホタルも飛び交っています。



▲ログハウス



に まるおんせん
▲二の丸温泉

2 | ひとびと しごと 人々の仕事とくらし



のうぎょう ようす 農業の様子



町内で農業がおこなわれているのは、**栖原地区・田地区・吉川地区・山田地区・湯浅地区**の**青木・別所**などです。

むかしは**米づくり**が中心でしたが、今は**米をつくる農家**が少なくなり、**みかんづくり**がさかんになりました。



① 米づくり

むかしの日本の農業は、**米づくり**が中心でした。米づくりは、水田に「いね」の苗を植えて育てます。いろいろな道具を使い、肥料やり、薬かけや草とりなどの作業が必要です。むかしはたいへんきびしい仕事でしたが、今は**耕運機・田植え機・噴霧器・脱穀機・コンバイン**などの便利な機械を使っています。

米づくりはたいへんだけど、
便利な機械のおかげで
少し楽になったのね。



主に湯浅、
山田地区だよ。



どの地区でも米づくりを
しているのかな？



田植え作業

いねかり作業



② みかんづくり

みかんは、200年ぐらい前からつくられ、「有田みかん」として全国へ送られています。山の斜面を切り開いたり、水田を畑にしたりして、みかん畑がどんどん広がられてきました。町内ではおもに「温州みかん」をつくっています。そのほか、「**三宝柑**」「**バレンシヤ**」「**きよみ**」などをつくっている農家もあります。

③いちごやびわづくり

山田地区では、みかんづくりのほかに、いちごをハウスでつくっています。ハウスでいちごの苗を育て、花がさくとミツバチを入れて実がなりやすいようにします。いちごが赤になるとパックにつめて市場に出荷します。



▲いちごの花

「いちご」や「びわ」をつくり
やすみを見学したいな。



田地区では、むかしからびわがつくられています。日当たりのよい山畑で育てます。実ができると、摘果や袋かけをします。おいしいびわができるように日々工夫しています。



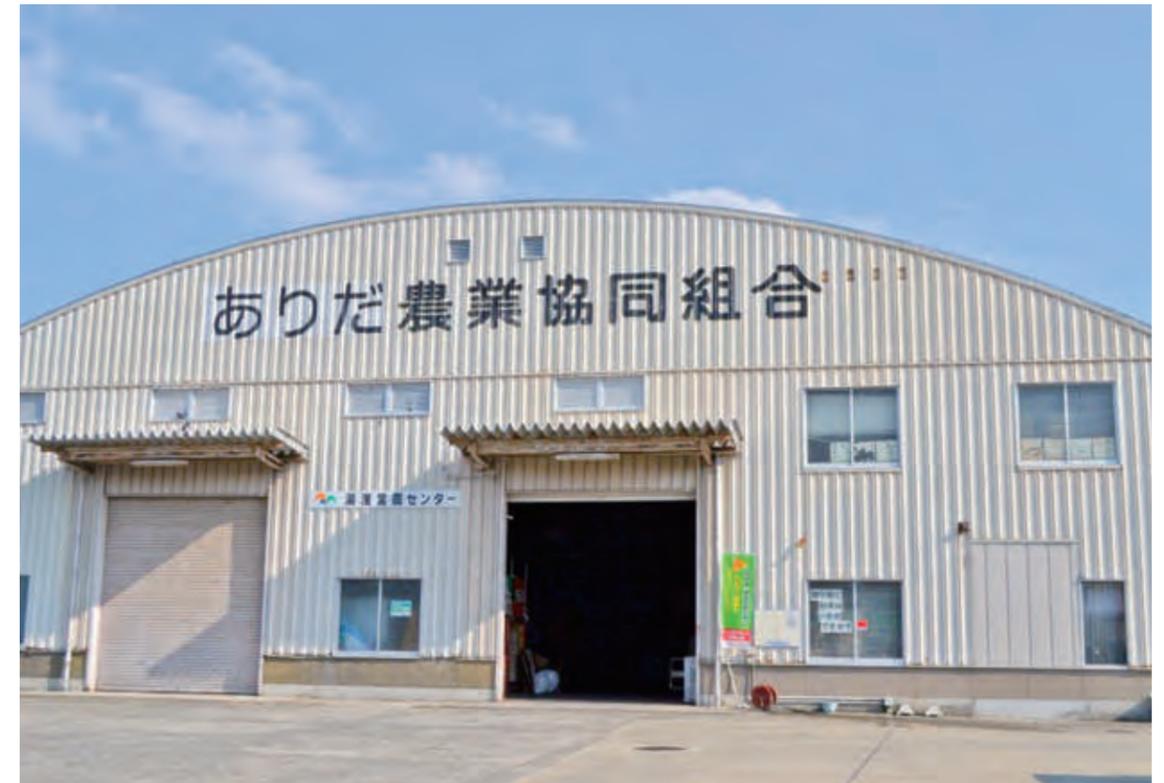
▲びわの袋かけ

農業のことを
もっと勉強してみたいわ。



5月から6月の取り入れの時期になると、パックにつめて市場に出荷します。飛行機でおくこともあります。

このほか、野菜や花をつかって市場へ出荷している農家もあります。農業をする人たちが集まって農業協同組合（JA）がつくられ、新しい技術や品種改良、肥料の販売などを行っています。



▲農業協同組合



農家の人に聞き取って、
まとめたことを発表しよう。



ぎょぎょう ようす 漁業の様子



ゆあさわん りく はい ちんたい あさ そこ
湯浅湾は、陸に入りこんだ地形で、全体に浅く底がたなのようになっているので、たくさんの種類の魚が住んでいます。

わん しま しま しま さかな
湾の中にはたか島・けなし島・かるも島があり、いろいろな魚がとれます。その上、船の出入りのしやすい港もつくられているので、むかしから漁業がたいへんさかんでした。

ゆあさ しんせん さかな にんき あつ あき おこな きしゅう ゆあさ
湯浅の新鮮な魚には人気が集まり、秋に行われる「紀州湯浅のギョギョつとお魚まつり」のときは、町外からもたくさんの人が来て、たいへんにぎわいます。

さいきん かいすい さかな もんだい
しかし、最近では海水のよごれや魚のとりすぎなどで、いろいろな問題も起こってきました。

たちく ぎょぎょう そだ ぎょぎょう かんが
田地区では、「とる漁業」から「育てる漁業」へという考えから、「わかめの養殖」などがおこなわれています。わかめの養殖については、綱にわかめの種つけをして海の中にぶら下げ、大きく育ったらとり入れをします。それを干しわかめや塩わかめにして出荷します。



▲わかめ養殖場・種つけ



▲わかめの乾燥風景



▲漁業協同組合

① 魚市場

うみ さかな うおいちば はこ
海でとれた魚は魚市場に運ばれ、魚屋さんや仲買の人たちが集まって「せり」がおこなわれます。朝早く「せり」の聲がひびいて、一番高い値段をつけた人が魚を買い取っていきます。

うおいちば ふね かん
こうした魚市場や船などの管理や新しい漁業の方法などについて相談するところが漁業協同組合（漁協）です。



▲魚市場・せりのようす



▲しらす加工

しらすはどんなところで

どんなにして
とるのだろうね。



バッチ系網って

なんだろう。

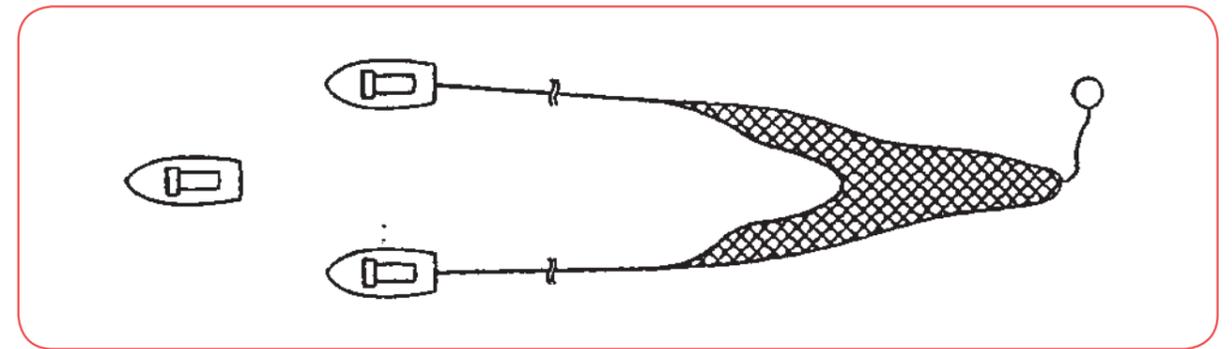


② しらす加工

「しらす」はイワシのこどもで、2そうの船でしらすの群れを「バッチ系網」に追いこんでとります。



▲しらす漁のようす



▲バッチ系網漁法

とれたしらすは加工工場に運ばれ、塩を入れた湯に通したあと乾燥させます。乾燥のしかたで「ちりめん」と「釜揚げしらす」に分けられ、はこづめにして出荷します。町内にはいくつかの加工工場があり、そこから各地の市場へ運ばれていきます。

③ 釣り舟

海ではたらく人々の仕事には、このほかに遊漁船（釣り舟）があります。大阪などからの釣り客を、釣り場やいかだに運ぶ仕事です。港の近くには釣り宿が多く、休日には釣り客でにぎわっています。



▲漁船（田）

▲魚釣りいかだ（栖原）

どんな魚が
とれるのだろう。



しょうぎょう ようす
商業の様子

しょうてんがい
①商店街

わたし まち こめ や
私たちの町には、米屋・
や とけい や でんき や
パン屋・時計屋・電気屋・
や お や ふく や
八百屋・服屋など、ならん
でたっているところがあり
ます。そこを商店街とい
います。

ゆ あ さ し ま の うち え き ま え
湯浅では島之内・駅前・
どう まち おお み や ど お り し ょ う て ん が い
道町・大宮通が商店街に
なっています。

しょうてんがい みせ かんばん がいとう
商店街ではそれぞれの店に看板や街灯などがたくさんなっています。



し ま の うち し ょ う て ん が い
▲島之内商店街



お お み や ど お り し ょ う て ん が い
▲大宮通商店街

みせ まえ しなもの
店の前に品物をならべたり、よ
く見えるように、明るくきれいに
ならべたりして、いろいろ工夫し
ています。



みせ ひと はなし き
店の人に話を聞きました。



みせ
お店たんけん メモ ○月□日

- なが きゃく おお
・長くおつきあいしているお客さんが多い。
- きゃく たいせつ
・お客さんとのふれあいを大切にしている。
- お
・スーパーマーケットにないものを置くようにしている。
- しなもの やす う
・よい品物を安く売るようにしている。
- はいたつ
・配達もしている。



しょうゆ みそ ゆあさ
醤油や味噌など、湯浅のおみやげになるものをおいている店もあります。
また、せんにくゆうすう みずあ りょうほこ ゆあさちよう
また、全国有数の「しらす」の水揚げ量を誇る湯浅町には、「しらす丼」
ていきよう いんしょくてん
を提供する飲食店がたくさんあります。

しょうてんがい
商店街では、みんなのちからをあわせて、お客を集める工夫をしています。た
例えば、おおう だ なつ あき きょうりよく
たとえば、大売り出しなどのイベントをしたり、夏まつりや秋まつりで協力し
あ合ったりしているそうです。

②スーパーマーケットやコンビニエンスストア

いろいろな品物を一つの店で買えるのがスーパーマーケットです。
品物の一つ一つに値段がついていて、買う人はほしい品物をかごに入れて、レジでお金をはらうしくみになっています。
町内には、大きなスーパーマーケットがいくつかあって、お昼前や夕方には買い物をする人たちがにぎわいます。



スーパーマーケットでくふうしていることを、店長さんに聞いてみたいな。



車で行って、一度にたくさん買えるのでべんりだと言っているよ。



ちらしを見て買い物に行こうよ。



また、コンビニエンスストアもあります。



電子マネーは、現金を使わずに支払いができる便利なものです。電子マネーには、カードのもの、インターネット上でやり取りするものなどがあります。電子マネーにチャージ（入金）することでお金を払うことができるようになります。最近では、スーパーマーケットやコンビニエンスストアで利用することができます。



③宿泊施設

湯浅町には、観光客や釣り客がたくさん訪れるため、ホテルや旅館などの宿泊施設がいくつかあります。



工業の様子

湯浅町には、10人から30人ぐ
らいの人が働いている小さな工場が
あちこちにあります。これらの工場
では、どんなものがつくられている
のでしょうか。

工場では、いろいろな原料から
製品をつくります。できあがった
製品は、注文先や大きな工場に送
られます。

湯浅町にたくさんの工場があるね。

それに、いろいろな種類の
工場があることにびっくりするね。



どこへ出荷しているのかな。
はたらく人の話も聞きたいな。
見学に行ってみようよ。



町内にあるおもな工場

味噌・醤油工場 ……大豆から味噌・醤油をつくる。

製材工場 ……木材から板や柱をつくる。

機械工場 ……電気器具の部品をつくる。

かわら工場 ……セメントから、かわらをつくる。

スチロール工場 ……発泡スチロールの箱をつくる。

木材加工(プレカット)工場 ……住宅用の木材をつくる。

天然水(ミネラルウォーター)工場 ……天然水をボトルにつめる。

しらす加工工場 ……水揚げされたしらすを釜揚げやちりめん
などに加工する。



製材工場 (湯浅)



ミネラルウォーター工場

せいざいこうじょう ひと はなし
製材工場の人の話

わたし こうじょう すぎ ひのき
私の工場では、杉と檜をあつかっています。
ねんまえ こうじょう たなべし やま き
70年前に工場をつくりました。田辺市の山で切ら
れた木をむかしはふね はこ い
船で運び入れました。
いま おも はこ おおがた き かい
今は主にトラックで運んでいます。大型機械をつ
かって、けんちくざい
建築材やパレットをつくっています。



たくさんの
道具があるね。



これがパレット
なんだね。



◀かわら工場(田)

ざいりょう
木材はどこから

くるとかな。



▼プレカット工場(山田)



▲スチロール工場(田)



ほうぼう
発砲スチロールって
こういう風にしてできるんだね。





ぼくは、醤油工場で
味見させてもらったよ。



ちか
近くまで来ると、
いいにおいがしたわ。



<< しぼる >>

うり、なす、しそ、しょうがとこうじ
をまぜて、しこみます。



<< こうじづくり >>

3 | 町の特ちょう



① 醤油と金山寺味噌

金山寺味噌は、今から780年あまり前の鎌倉時代に、由良町興国寺の覚心(法燈国師)というお坊さんが、中国からそのつくり方を伝えたといわれています。

さらに、その味噌から醤油がつくられ、400年前から全国に売り出したと伝えられています。一番盛んなときには、広川町とあわせて90軒あまりの醤油屋があったそうです。今では数少なくなりましたが、現在でも古い醤油蔵や味噌蔵が残されており、湯浅町の特産品として「湯浅醤油」・「金山寺味噌」が売り出されています。

▶ 金山寺味噌店



▶ 醤油蔵



◀ 大仙堀



ここから醤油が積み出されました。



湯浅の地区には、鍛冶町・御蔵町・道町・新屋敷など地名がついています。
地名の由来は、次のようにまとめられます。

- 鍛冶町……むかし、鍛冶屋さんが多く住んでいた地区
※鍛冶屋では鉄製品を扱い、刃物、工具、農具などの製造、修理を行っていました。
- 御蔵町……蔵が多くあった地区
- 道町……熊野古道が通っていた地区
- 新屋敷……浜町の西の海岸に新しく宅地が開発された地区
- 大宮通……顕国神社がある地区
※むかし、顕国神社は大宮さんと呼ばれていました。

また、歴史上有名な湯浅の人のなかに、紀伊国屋文左衛門という人物がいます。紀伊国屋文左衛門は、架空の人物であるとする説もありますが、湯浅町別所で生まれたという説が強いです。江戸時代の前期の豪商であったと言われています。



紀伊国屋文左衛門の像

②熊野参詣道

湯浅町のまん中のにぎやかな通りを「道町」と言います。四つ角に、「立石」と呼ばれる大きな道しるべが立っています。道しるべには、「この道を南へまっすぐ行くと『熊野』です」、「東へ行くと『伊勢、高野』です」というように、それぞれの行き先が書かれています。



▲立石

今から1000年あまり前から、多くの人たちが熊野三山（本宮・新宮・那智）にお参りするようになりました。そして、600年あまり前から、この道をたくさんの人が通るようになり、「ありの熊野詣」と言われるほどになりました。

また、吉川や別所には、その途中で休んだり、お参りしたりする「王子」と呼ばれる神社も残されています。（逆川王子と久米崎王子）その後、2004年（平成16年）に、熊野三山と高野山、吉野山とそのお参りする道が世界遺産になりました。



▲熊野古道



▲逆川王子跡



▲行者石



▲峠茶屋跡 (糸我峠)



▲久米崎王子跡



景色のいい

ところもあるよ。

③歴史的な町なみ

私たちの湯浅町は、「醤油発祥の地」、「醸造盛んな町」として、およそ400年間発展してきました。町内には、日本の伝統的な「町家」や「土蔵」が数多く残されています。

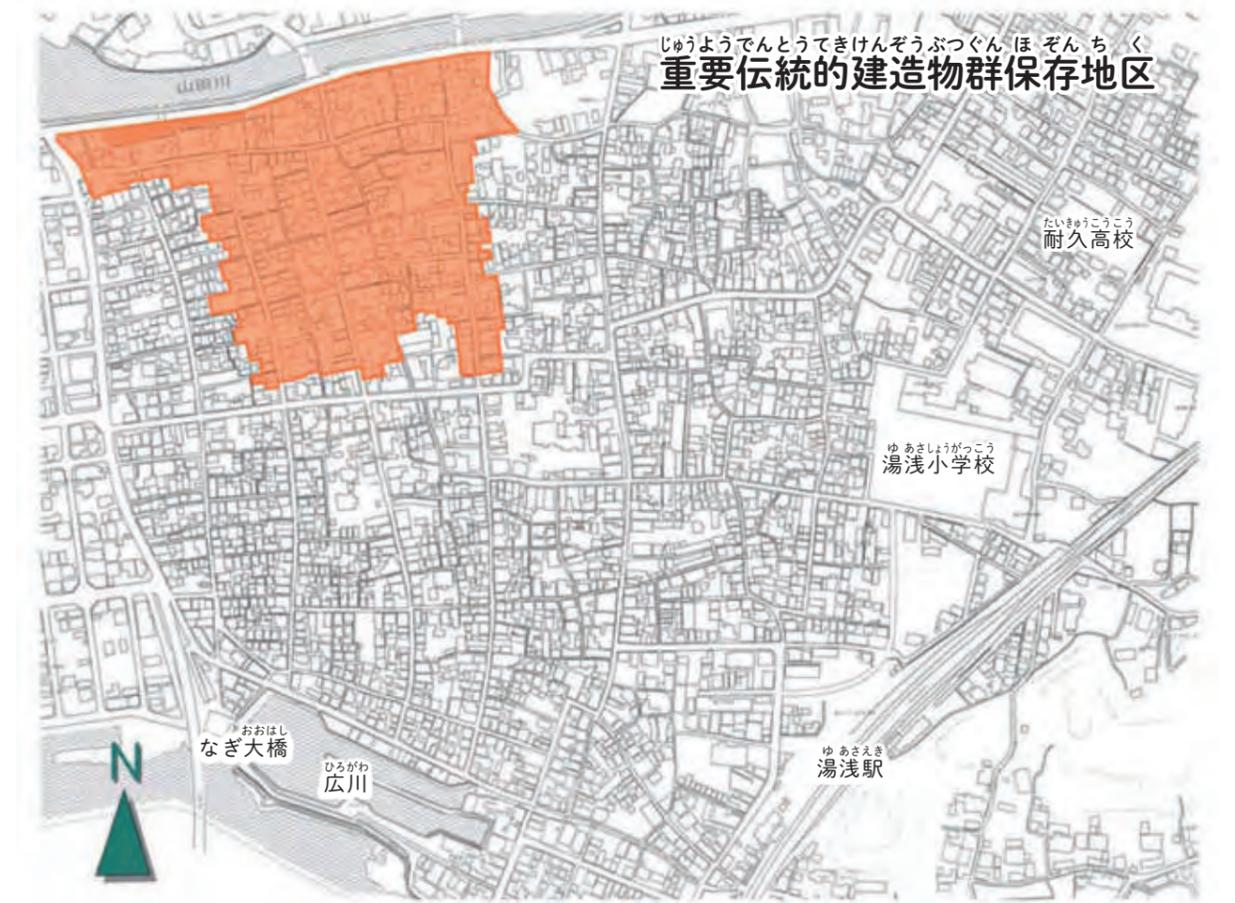
2006年12月、長い歴史のあるこの町なみをあとの時代の人々に残すために、4つの地区（北鍛冶町、北町、北中町、北浜町）を重要伝統的建造物群保存地区（通称「伝建地区」）として国から指定を受けて、保存していくことになりました。

全国では79番目、和歌山県では初めてのことになります。

また、2017年4月、日本遺産にも認定されました。



▲伝建地区



コラム 日本遺産『「最初の一歩」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』

日本遺産は、日本の古い歴史や人のくらしをわかりやすいストーリー（物語）にして、日本人だけでなく外国の人にも興味を持っていただき、観光に来ていただくという取り組みです。

湯浅の人々が金山寺味噌をつくっている途中にできる溜（液）に工夫をしておいしくしたものが醤油です。醤油は、やがて日本中に広がって、私たちの食事には欠かせないものになりました。また、醤油づくりを中心に発展した湯浅の町なみには、金山寺味噌や醤油をつくる蔵やお店があって、醤油のふるさと感じることができます。

このストーリーが『「最初の一歩」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』として、2017年4月、日本遺産になりました。



◀ 日本遺産マーク

▶ 昔ながらの醤油づくり



おお ひと ゆあさ
多くの人に湯浅を
知ってもらいたいね。



◀ 古い町なみ



◀ 町のお祭り

4 | 資料



▼ 資料1 有田地方の市と町



▼ 資料2 湯浅町内の字

